

「使用上の注意」改訂のお知らせ

オキサゾリジノン系合成抗菌剤

処方箋医薬品^{注)}

リネゾリド注射剤

リネゾリド点滴静注液 600mg 「日医工」

製造販売元 日医工株式会社
富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (..... : 自主改訂)

改訂後			改訂前		
3. 相互作用			3. 相互作用		
併用注意（併用に注意すること）			併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略（変更なし）			省略		
<u>セロトニン作動薬</u> <u>炭酸リチウム</u> <u>セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤 (SNRI)</u> <u>選択的セロトニン再取り込み阻害剤 (SSRI)</u> <u>トリプタン系薬剤</u> <u>L-トリプトファン含有製剤</u> <u>トラマドール塩酸塩</u> <u>フェンタニル</u> <u>メサドン塩酸塩</u> <u>ペチジン塩酸塩等</u>	セロトニン症候群の徴候及び症状（錯乱、せん妄、情緒不安、振戦、潮紅、発汗、超高熱）があらわれるおそれがあるので、十分に注意すること。これらの徴候や症状が認められた場合には、本剤と併用薬の両方あるいはいずれか一方の投与を中止するなど適切な処置を行うこと。なお、セロトニン作動薬の急激な減量又は投与中止により離脱症状があらわれることがあるので注意すること。	本剤は非選択的、可逆的 MAO 阻害作用を有する。	<u>セロトニン作動薬</u>	セロトニン症候群の徴候及び症状（錯乱、せん妄、情緒不安、振戦、潮紅、発汗、超高熱）があらわれるおそれがあるので、十分に注意すること。これらの徴候や症状が認められた場合には、本剤と併用薬の両方あるいはいずれか一方の投与を中止するなど適切な処置を行うこと。なお、セロトニン作動薬の急激な減量又は投与中止により離脱症状があらわれることがあるので注意すること。	本剤は非選択的、可逆的 MAO 阻害作用を有する。
省略（変更なし）			省略		

<改訂理由>

・「併用注意」の項において、「セロトニン作動薬」（薬効群名）に対する代表的な一般的名称として「炭酸リチウム」、「セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤（SNRI）」、「選択的セロトニン再取り込み阻害剤（SSRI）」、「トリプタン系薬剤」、「L-トリプトファン含有製剤」、「トラマドール塩酸塩」、「フェンタニル」、「メサドン塩酸塩」、「ペチジン塩酸塩」を追記しました。

<変更ロット・流通予定時期>

変更ロット・流通予定時期については、現段階では未定です。当面の間、新・旧が混在し、ご迷惑をおかけすることと存じますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ^{てんぶん}®」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ^{てんぶん}®」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

リネゾリド点滴静注液「日医工」



(01)14987376233801

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.310」(2022年8月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載致します。